



新年御挨拶

2021 年元旦

医療法人社団 サンタクルス
理事長 吉田 昌弘

～すべてはこの笑顔のために～

あけまして、おめでとうございます。

去年は想像もしない大変な一年でした。コロナコロナで毎日あけくれ、どうやって妊婦さんや赤ちゃんをお守りするか、初めての経験で毎日ひやひやの連続でした。幸いサンタクルスでは今現在、院内感染の報告はありませんが、世間では感染が拡大し、いつ誰が感染してもおかしくないような状況になっています。

その中で、分娩の立ち合い、ご家族の同伴、外来での家族での参加をどうするか、スタッフ間でも何度も話し合いを持ちました。サンタクルスはもともと家族のつながりを何より大切にしています。何としても分娩時のお母さまに、寂しく孤独な思いだけはさせたくなく、立ち合い分娩だけはキープしてまいりました。

総合病院や多くのクリニックで立ち合い、面会が禁止されています。が、私たちは、感染予防の皆さんのご協力を得ながら、暖かい家族の出産をサポートする努力をあきらめずしてまいりたいと思います。

感染状況がどのようになるかわからない中、今後どこまで維持できるか予想できませんが、サンタクルスの理念は是非ご理解いただき、患者様と一緒にあって、感染防止対策を徹底し、このコロナ禍を乗り越えていければと思います。

幸いこのコロナ禍でもサンタクルスグループの中で、1500人近いエンジェルが巣立ってくれました。また、不妊治療センターでは500人近い方に「おめでとう」ということができました。この子たちが日本の未来を担います。24時間365日診療体制を維持するのは正直大変です。この笑顔に癒され、エネルギーをいただき、少しでも安心安全な医療をめざしてまいります。

当たり前のことが当たり前でなくなった今、改めて通常的生活、通常医療が行えることに感謝をこめて。